

スーパー
殺害
の
従業員
の
殺害
の
犯人
の
捜索
中
の
状況

路地を伝い逃走

店付近の地理に精通か

広島市佐伯区五日市中央
四丁目、スーパー「マルシ
ョク五日市店」の商品搬入

通路で三日夜、同店主任の
千円など入った手提げ金
庫がなくなった事件で、容
疑者は犯行後、同店裏の民
家の塀を乗り越えて路地を
通り、約五十メートル離れた月決
め駐車場方向に逃走した疑
いの強いことが五日、広島
県警の捜査本部の調べで分
かった。

これまでの現場検証の結果、犯行現場の同店北側商品搬入通路から駐車場にかけて、血痕が点々と残っていたことが判明した。捜査本部は、犯行時に容疑者が刃物で自らも傷ついたか、新谷さんの返り血を浴びた疑いもある、とみている。

商品搬入通路から駐車場までは、密集した民家の間などを抜ける路地が続いている。店周辺には袋小路の路地も多く、捜査本部は現



犯行時間帯に合わせ、「マルシヨク五日市店」近くのコイン通りで検問をする警察官（4日午後9時半、広島市佐伯区五日市中央4丁目）

場付近の地理に詳しいか、下見をした可能性もある、としている。

捜査本部は五日朝から、百十人体制で同店周辺の現場検証や聞き込みを続行。四日夜は犯行時間帯と同じ午後九時から約一時間半、同店近くのコイン通りで車両を検問し、三日午後九時前後に、不審な車や人物を

見なかったかどうかを聴いた。